

平成 22 年 10 月 28 日

大阪府知事 橋下 徹 様

(住 所) 550-0024 大阪市西区境川1-2-31

(名 称) 社会医療法人 きつこう会 多根総合病院

(代表者) 理事長 小川 嘉誉

印

大阪府がん診療拠点病院の現況報告書の提出について

標記について、「大阪府がん診療拠点病院設置要綱」に基づき、
別添関係書類を添えて、現況報告書を提出します。

<指定申請:提出資料一覧>

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

			頁
【大阪府がん診療拠点病院 新規指定(様式)】			
様式1	(指定)	連絡先	1
様式2	(指定)	病院概要	2
様式3	(指定)	大阪府がん診療拠点病院の指定要件等について	11
【添付資料】			
資料番号	様式	内 容	
別紙1	(指定)	保有する放射線診療機器等の一覧	16
別紙2	(指定)	高度医療への対応状況 (がんに関するもの)	18
別紙3	(指定)	放射線療法を連携する医療機関	19
別紙4	(指定)	診療機能(専門分野等)	20
別紙5	(指定)	院内クリティカルパス	32
別紙6	(指定)	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会	33
別紙7	(指定)	外来化学療法室に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性	34
別紙8	(指定)	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	35
別紙9	(指定)	緩和ケアチームの組織・体制	36
別紙10	(指定)	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順	37
別紙11	(指定)	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制	38
別紙12	(指定)	緩和ケアチームに対する新規診療依頼事例	39
別紙13	(指定)	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績	40
別紙14	(指定)	緩和ケアに関する広報	41
別紙15	(指定)	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性	42
別紙16	(指定)	病理診断について協力を得られる医療機関	43
別紙17	(指定)	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	44
別紙18	(指定)	地域の医療機関への診療支援や病連携・病診連携の体制	45
別紙19	(指定)		51
別紙20	(指定)	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制	52
別紙21	(指定)	セカンドオピニオンに関する情報提供	57
別紙22	(指定)	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況	58
別紙23	(指定)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況	59
別紙24	(指定)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象としたがんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況	60
別紙25	(指定)	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況	61
別紙26	(指定)	相談支援窓口の相談対応状況	62
別紙27	(指定)	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制構築の取り組みの状況	63
別紙28	(指定)	がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口	64
別紙29	(指定)	院内がん登録の登録実施項目	69
別紙30	(指定)	患者・府民を対象としたがんに関する講演会の実施状況	70
別紙31	(指定)	府民へのメッセージ	71

がん診療連携拠点病院 新規指定・指定更新推薦書・現況報告書

平成22年9月1日時点について記載

1. 新規・更新の別 (1) 新規指定 (2) 指定更新[指定年月日:平成 年 月 日] (3) 現況報告
 ※該当する項目を口で囲むこと。

2. 病院概要		
(1)病院名 (表紙シートの病院名を反映)	社会医療法人きつこう会 多根総合病院	
(2)所在地等		
郵便番号	550-0024	
住所	大阪市西区境川1-2-31	
電話番号(代表)	06-6581-1071	
FAX番号(代表)	06-6581-2520	
e-mail(代表)	info@tane.or.jp	
HPアドレス	http://www.tane.or.jp	
所属2次医療圏	大阪市医療圏(西部ブロック)	
(3)開設		
①開設者	社会医療法人きつこう会 理事長 小川 嘉誉	
②開設年月日(和暦/YY/MM/DD)	昭和24年10月19日	
(4)アクセス情報		
①鉄道	JR環状線 / 大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線 大正駅から 徒歩8分 大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線 / 阪神なんば線 大阪ドーム前千代崎駅・ドーム前駅から 徒歩8分	
②バス	大阪市バス 境川バス停から 徒歩 1分	
③高速道路の最寄りインターチェンジ	阪神高速 九条出口から 3分 阪神高速 波除出口から 3分	
④駐車場	80	台
(5)面積		
①土地	3,397.62 m ²	
②建物	12,141.28 m ²	
(6)診療時間		
①外来診療受付時間	月曜～金曜 9時～11時30分 午後は診療科による 土曜 9時～11時30分	
②外来診療時間	月曜～金曜 9時～17時 土曜 9時～12時30分	
③休診日	毎週 日曜日、その他(祝日、年末年始)	
④初診時の予約の要否	不要	(すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要)
⑤初診時の紹介状の要否	不要	(すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要)
(7)診療科		
開設診療科名(医療法施行令第3条の2(法第6条の6第1項に規定する政令で定める診療科名))を以下に記載		
開設診療科一覧について、ホームページで公開している場合は、そのページのURL www.tane.or.jp/sinryoubu/top3.html		
内科	あり	(あり・休診中・なし)
呼吸器内科	なし	(あり・休診中・なし)
循環器内科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器内科	なし	(あり・休診中・なし)
心臓内科	なし	(あり・休診中・なし)
血液内科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道内科	なし	(あり・休診中・なし)
胃腸内科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍内科	なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病内科	なし	(あり・休診中・なし)
代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
内分泌内科	なし	(あり・休診中・なし)
脂質代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
腎臓内科	なし	(あり・休診中・なし)
神経内科	あり	(あり・休診中・なし)
心療内科	なし	(あり・休診中・なし)
感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)
漢方内科	なし	(あり・休診中・なし)
老年内科	なし	(あり・休診中・なし)
女性内科	なし	(あり・休診中・なし)
新生児内科	なし	(あり・休診中・なし)
性感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)
内視鏡内科	なし	(あり・休診中・なし)
人工透析内科	なし	(あり・休診中・なし)
疼痛緩和内科	なし	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック内科	なし	(あり・休診中・なし)
アレルギー疾患内科	なし	(あり・休診中・なし)
内科(ペインクリニック)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(循環器)	なし	(あり・休診中・なし)

内科(薬物療法)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(感染症)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(骨髄移植)	なし	(あり・休診中・なし)
外科	あり	(あり・休診中・なし)
呼吸器外科	なし	(あり・休診中・なし)
心臓血管外科	なし	(あり・休診中・なし)
心臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器外科	なし	(あり・休診中・なし)
乳腺外科	なし	(あり・休診中・なし)
小児外科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
肛門外科	なし	(あり・休診中・なし)
整形外科	あり	(あり・休診中・なし)
脳神経外科	あり	(あり・休診中・なし)
形成外科	あり	(あり・休診中・なし)
美容外科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍外科	なし	(あり・休診中・なし)
移植外科	なし	(あり・休診中・なし)
頭頸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
胸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
腹部外科	なし	(あり・休診中・なし)
肝臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
膵臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
胆のう外科	なし	(あり・休診中・なし)
食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
胃外科	なし	(あり・休診中・なし)
大腸外科	なし	(あり・休診中・なし)
内視鏡外科	なし	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック外科	なし	(あり・休診中・なし)
外科(内視鏡)	なし	(あり・休診中・なし)
外科(がん)	なし	(あり・休診中・なし)
精神科	なし	(あり・休診中・なし)
アレルギー科	なし	(あり・休診中・なし)
リウマチ科	なし	(あり・休診中・なし)
小児科	あり	(あり・休診中・なし)
皮膚科	あり	(あり・休診中・なし)
泌尿器科	あり	(あり・休診中・なし)
産婦人科	なし	(あり・休診中・なし)
産科	なし	(あり・休診中・なし)
婦人科	あり	(あり・休診中・なし)
眼科	なし	(あり・休診中・なし)
耳鼻いんこう科	あり	(あり・休診中・なし)
リハビリテーション科	あり	(あり・休診中・なし)
放射線科	あり	(あり・休診中・なし)
放射線診断科	なし	(あり・休診中・なし)
放射線治療科	なし	(あり・休診中・なし)
病理診断科	なし	(あり・休診中・なし)
臨床検査科	なし	(あり・休診中・なし)
救急科	なし	(あり・休診中・なし)
児童精神科	なし	(あり・休診中・なし)
老年精神科	なし	(あり・休診中・なし)
小児眼科	なし	(あり・休診中・なし)
小児耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
小児皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道・耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍放射線科	なし	(あり・休診中・なし)
男性泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
神経泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
小児泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
小児科(新生児)	なし	(あり・休診中・なし)
泌尿器科(不妊治療)	なし	(あり・休診中・なし)
泌尿器科(人工透析)	なし	(あり・休診中・なし)
産婦人科(生殖医療)	なし	(あり・休診中・なし)
美容皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
歯科	なし	(あり・休診中・なし)
小児歯科	なし	(あり・休診中・なし)
矯正歯科	なし	(あり・休診中・なし)
歯科口腔外科	なし	(あり・休診中・なし)
呼吸器科	あり	(あり・休診中・なし)

循環器科		あり	(あり・休診中・なし)
消化器科		あり	(あり・休診中・なし)
精神神経科		なし	(あり・休診中・なし)
神経科		なし	(あり・休診中・なし)
麻酔科		あり	(あり・休診中・なし)
緩和ケア科		なし	(あり・休診中・なし)
緩和医療科		なし	(あり・休診中・なし)
内分泌・糖尿病内科		なし	(あり・休診中・なし)
内分泌・代謝内科		なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病・内分泌内科		なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病・代謝内科		なし	(あり・休診中・なし)
肝臓内科		なし	(あり・休診中・なし)
心血管内科		なし	(あり・休診中・なし)
緩和ケア内科		なし	(あり・休診中・なし)
化学療法科		なし	(あり・休診中・なし)
総合内科		なし	(あり・休診中・なし)
総合診療科		なし	(あり・休診中・なし)
乳腺・内分泌外科		なし	(あり・休診中・なし)
血管外科		なし	(あり・休診中・なし)
血液・腫瘍内科		なし	(あり・休診中・なし)
気管・食道科		なし	(あり・休診中・なし)
肛門科	科	あり	(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)

(8)病床数等（平成22年9月1日時点）

① 病床数		
総数	304	床
うち療養病床	0	床
うち一般病床	304	床
うち特別療養環境室としている病床	55	床

② 診療機器の保有状況等		別紙1
X線CT装置	2	台
うちマルチスライスCT装置	1	台
MRI装置	1	台
核医学検査装置	2	台
うちPET(陽電子断層撮影)検査装置	0	台
血管造影撮影装置	2	台
放射線治療装置（リニアック又はマイクロトロンに限る）	0	台
バーチャルスライド装置	0	台

③ 診療報酬に係る施設基準等		
① 施設基準を取得した病床数		
一般病棟入院基本料(A100)	298	床
療養病棟入院基本料(A101)	0	床
特定機能病院入院基本料(A104)	0	床
専門病院入院基本料(A105)	0	床
救命救急入院料(A300)	0	床
特定集中治療室管理料(A301)	6	床
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	0	床
小児入院医療管理料1(A3071)	0	床
小児入院医療管理料2(A3072)	0	床

小児入院医療管理料3(A3073)			0	床
回復期リハビリテーション入院料(A308)			0	床
亜急性期入院医療管理料(A308-2)			0	床
特殊疾患養病棟入院料(A309)			0	床
緩和ケア病棟入院料(A310)			0	床
②届出された先進医療の状況等				
先進医療への対応状況(がんに関するもの)			別紙2	
③診療報酬に係る施設基準等(件数は平成21年9月-平成22年8月の集計)				
DPC対象病院			はい	(はい・いいえ)
DPC準備病院(H22年度調査参加)			いいえ	((はい・いいえ))
がん診療連携拠点病院加算(A232)	なし(あり、なし)		0	件入院1回
退院時共同指導料2(B005)	あり(あり、なし)		1	件入院中1回
緩和ケア診療加算(A226-2)	なし(あり、なし)		0	件1日につき
緩和ケア病棟入院料(A310)	なし(あり、なし)		0	件1日につき
麻薬管理指導加算(B008)	あり(あり、なし)		187	件1回につき
がん性疼痛緩和指導管理料(B001-22)	なし(あり、なし)		0	件月1回
リンパ浮腫指導管理料(B001-7)	あり(あり、なし)		0	件入院中1回
外来化学療法加算I(第6部 通則)	なし(あり、なし)		626	件1日につき
外来化学療法加算II(第6部 通則)	あり(あり、なし)		0	件1日につき
診療録管理体制加算(A207)	あり(あり、なし)		6,672	入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上)
医師事務作業補助体制加算(A207-2)	あり(あり、なし)		7,008	入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上)
栄養管理実施加算(A233)	あり(あり、なし)		97,171	件1日につき
医療安全対策加算(A234)	あり(あり、なし)		7,010	件入院初日
退院調整加算(A238)	あり(あり、なし)		1	件入院時1回、退院時1回
救命救急入院料1(A300)	なし(あり、なし)		0	件1日につき
救命救急入院料2(A300)	なし(あり、なし)		0	件1日につき
特定集中治療室管理料(A301)	あり(あり、なし)		2,268	件1日につき
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	あり(あり、なし)		0	件1日につき
ニコチン依存症管理料(B001-3-2)	あり(あり、なし)		180	件診療回数に応じて
在宅療養支援病院の施設基準	なし(あり、なし)			件数は計上しない。
がん治療連携計画策定料(計画策定病院)(B005)	なし(あり、なし)		0	件退院時1回
薬剤管理指導料(B008)	あり(あり、なし)		8,949	件週1回
医療機器安全管理料(B011-4)	あり(あり、なし)		324	件1月につき、放射線治療は一連で1回
検体検査管理加算(III)(D026)	なし(あり、なし)		0	件月1回
遺伝カウンセリング加算(D026)	なし(あり、なし)		0	件月1回
画像診断管理加算2(第4部 通則)	あり(あり、なし)		14,931	件月1回
遠隔画像診断による画像診断の施設基準	なし(あり、なし)		0	件月1回
ポジトロン断層撮影(E101-2)	なし(あり、なし)		0	件一連につき1回
コンピューター断層複合撮影の施設基準(E101-)	なし(あり、なし)		0	件一連につき1回
無菌製剤処理料1(G020)	あり(あり、なし)		1,017	件1日につき
輸血管理料I(K920-2)	あり(あり、なし)		630	件月1回
輸血管理料II(K920-2)	なし(あり、なし)		0	件月1回
放射線治療管理料(M000)	なし(あり、なし)		0	分布図作成1回につき1件回、治療過程において2回
放射線治療専任加算(M000)	なし(あり、なし)		0	件1日につき
外来放射線治療加算(M000)	なし(あり、なし)		0	件1日につき1回
高エネルギー放射線治療の施設基準(M001)	なし(あり、なし)		0	件1回
強度変調放射線治療(IMRT)の施設基準(M000)	なし(あり、なし)		0	件1回
直線加速器による定位放射線治療の施設基準(M001-3)	なし(あり、なし)		0	件1回
テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製料(N003)	なし(あり、なし)		0	件1手術につき
がん患者カウンセリング料(B001-23)	なし(あり、なし)		0	件1回
(10)職員数		総職員数(事務職員含む)	420	人
<p>・常勤医師数:「常勤」とは、当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべて勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。</p>				

①職種別内訳		
※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。		
	非常勤	常勤
	※(常勤換算)	
医師	5.09人	65人
歯科医師	0人	0人
薬剤師	0.85人	20人
保健師	0人	0人
助産師	0人	0人
看護師	2人	270人
准看護師	2.35人	3人
理学療法士	0人	9人
作業療法士	0人	1人
視能訓練士	0人	0人
言語聴覚士	0人	1人
義肢装具士	0人	0人
歯科衛生士	0人	0人
歯科技工士	0人	0人
診療放射線技師	0人	19人
臨床検査技師	0人	23人
衛生検査技師	0人	0人
臨床工学技士	0人	2人
管理栄養士	0人	2人
栄養士	0人	0人
社会福祉士	0人	5人
精神保健福祉士	0人	0人
介護福祉士	0人	0人
※②～④については、複数の資格を持つものは、両方にカウントする。		
	非常勤	常勤
②医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について	※(常勤換算)	
(社)日本整形外科学会 整形外科専門医	0人	1人
(社)日本皮膚科学会 皮膚科専門医	0人	0人
(社)日本麻酔科学会 麻酔科専門医	0人	2人
(社)日本医学放射線学会 放射線治療専門医	0人	2人
(財)日本眼科学会 眼科専門医	0人	0人
(社)日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	0人	1人
(社)日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	0人	1人
(社)日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	0人	3人
(社)日本形成外科学会 形成外科専門医	0人	0人
(社)日本病理学会 病理専門医	0人	1人
(社)日本内科学会 総合内科専門医	0人	2人
(社)日本外科学会 外科専門医	0人	10人
(社)日本肝臓学会 肝臓専門医	0人	0人
(社)日本感染症学会 感染症専門医	0人	1人
(社)日本血液学会 血液専門医	0人	0人
(社)日本呼吸器学会 呼吸器専門医	0人	0人
(財)日本消化器病学会 消化器病専門医	0人	3人
(社)日本腎臓学会 腎臓専門医	0人	0人
(社)日本小児科学会 小児科専門医	0人	0人
有限責任中間法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	0人	2人
(社)日本超音波医学会 超音波専門医	0人	0人
特定非営利活動法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	0人	0人
(社)日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	0人	3人
(社)日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	0人	1人
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	0人	0人
(社)日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	0人	2人
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	0人	0人
有限責任中間法人 日本乳癌学会 乳腺専門医	0人	0人
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	0人	0人
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	0人	0人
有限責任中間法人 日本核医学会 核医学専門医	0人	0人
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	0人	0人
有限責任中間法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0人	0人
特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	0人	0人
有限責任中間法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	0人	0人
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	0人	0人
有限責任中間法人 日本総合病院精神医学会 一般病院精神医学専門医	0人	3人
日本緩和医療学会 専門医	0人	0人
日本緩和医療学会 暫定指導医	0人	0人
がん治療認定医機構 がん治療認定医	0人	3人

(11)その他（平成22年9月1日現在）			
①承認等の状況			
地域医療支援病院		承認なし	(承認あり、承認なし)
開放型病院		承認あり	(承認あり、承認なし)
②夜間(深夜も含む)救急対応の可否			
		可	(可、否)
③各種委員会の設置状況			
倫理審査委員会	あり	(あり、なし)	年 1 回開催
治験審査委員会	あり	(あり、なし)	年 1 回開催
④診療情報管理の状況			
・病院情報システムの稼働状況			
検査オーダー		あり	(あり、なし)
処方オーダー		あり	(あり、なし)
診療予約オーダー		あり	(あり、なし)
入院病名オーダー		なし	(あり、なし)
外来病名オーダー		なし	(あり、なし)
電子カルテ		あり	(あり、なし)
・ICDコードの利用状況			
ICD-10を入院病名管理に利用している		はい	(はい・いいえ)
ICD-10を外来病名管理に利用している		はい	(はい・いいえ)
⑤遠隔医療システム等の導入状況			
遠隔画像診断		なし	(あり、なし)
遠隔病理診断		なし	(あり、なし)
在宅療養支援		なし	(あり、なし)
外来診察室におけるインターネット環境		なし	(あり、なし)
病棟におけるインターネット環境		なし	(あり、なし)
(12)患者数・診療件数の状況			
①患者数等			
年間新入院のべ患者数（平成21年1月1日～12月31日）		17,349	人
年間新入院のべがん患者数（平成21年1月1日～12月31日）※1		727	人
年間新入院のべ患者数に占めるがん患者の割合		4.2%	
年間外来のべがん患者延数（平成21年1月1日～12月31日）※3		2,129	人
年間院内死亡がん患者数（平成21年1月1日～12月31日）※1		112	人
新入院のべ患者数(原則、平成22年4月1日～7月31日までの新入院患者。)		2,478	人
うちのべがん患者数		242	人
(新入院患者数に占めるがん患者の割合)		9.8%	
うちのべ肺がん患者数 (ICD-10コード C34\$)		16	人
うちのべ胃がん患者数 (ICD-10コード C16\$)		31	人
うちのべ大腸がん(直腸がんを含む)患者数 (ICD-10コード C18\$, C19, C20)		43	人
うちのべ肝臓がん患者数 (ICD-10コード C22\$)		20	人
うちのべ乳がん患者数 (ICD-10コード C50\$)		8	人
* ※1 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。 ※2 \$ は以下の分類をすべて含んでいる。 ※3 年間外来のべがん患者延数は、=当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者のべ延数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。 ※4 新入院のべ(がん)患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。			

② 麻酔及び手術等の状況(平成22年4月1日～7月31日)		
全身麻酔(静脈麻酔は除く)	502	件
ア 悪性腫瘍の手術件数の総数	67	件
イ 肺がん(C34\$)の手術件数		
開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$	0	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$	0	件
ウ 胃がん(C16\$)の手術件数		
開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572	4	件
腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22	4	件
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531	0	件
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532	9	件
エ 大腸がん(C18\$, C19, C20)の手術件数		
開腹手術 K7193, K739\$, K740\$, K748\$	10	件
腹腔鏡下手術 K719-2\$, K719-3, K740-2\$	16	件
内視鏡手術 K7211	6	件
オ 肝臓がん(C22\$)の手術件数		
開腹手術 K695\$	0	件
マイクロ波凝固法 K697-2	0	件
ラジオ波焼灼療法 K697-3	2	件
カ 乳がん(C50\$)の手術件数		
手術 K476\$	3	件
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0	件
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	0	件
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	0	件
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32	0	件
キ 転移性肺がん(C780)の手術件数		
開胸手術 K514\$, K5182, K511\$	0	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513	1	件
ク 転移性肝がん(C787)の手術件数		
開腹手術 K695\$	0	件
③ 放射線治療		
※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。		
ア-1 のべ患者実数(平成21年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)		
例:平成21年3月に新患として放射線治療を受け、同年10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
体外照射	0	人
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	0	人
定位照射(体幹部)	0	人
強度変調放射線治療(IMRT)	0	人
小線源治療	0	人
ア-2 のべ患者実数(平成22年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数)		
例:平成22年4月に新患として放射線治療を受け、同年7月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
<入院>		
肺がん	0	人
胃がん	0	人
肝がん	0	人
大腸がん	0	人
乳がん	0	人
<外来>		
肺がん	0	人
胃がん	0	人
肝がん	0	人
大腸がん	0	人
乳がん	0	人

イ-1 照射回数（平成22年4月1日～7月31日ののべ照射回数）		
体外照射	0	回
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	0	回
定位照射(体幹部)	0	回
強度変調放射線治療(IMRT)	0	回
小線源治療	0	回
イ-2 のべ照射回数（平成22年4月1日～7月31日）		
<入院>		
肺がん	0	回
胃がん	0	回
肝がん	0	回
大腸がん	0	回
乳がん	0	回
<外来>		
肺がん	0	回
胃がん	0	回
肝がん	0	回
大腸がん	0	回
乳がん	0	回
④ がんに係る化学療法（平成22年4月1日～7月31日）		
ア のべ患者数（化学療法1レジメンを1人として数える。内服のみのレジメンは対象外とする。）		
例：当月中に、エトポシド+シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。		
	<入院>	64 人
	<外来>	4 人
イ のべ処方件数（抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。）		
例：当月中に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。		
	<入院>	132 件
	<外来>	232 件
⑤ 検査等の実施状況		
ア 病理診断の件数		
病理診断(平成21年1月1日～12月31日)	2,070	件
細胞診断(平成21年1月1日～12月31日)	2,159	件
病理組織迅速組織顕微鏡検査(平成21年1月1日～12月31日)	31	件
剖検(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	3	件
剖検率(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	1	%
イ 画像診断等の件数（平成21年1月1日～12月31日）		
上部消化管内視鏡検査	2,723	件
気管支内視鏡検査	46	件
大腸内視鏡検査	981	件
血管連続撮影	158	件
スパイラルCT検査	0	件
CTガイド下生検	0	件
MRI検査	4,830	件
RI診断検査(シンチグラム)	676	件
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査	134	件
PET(陽電子断層撮影)検査	0	件

3. 大阪府がん診療拠点病院の指定要件等について

社会医療法人きつこう会 多根総合病院

指定要件での扱い

A:必須

B:原則必須

C:対応することが望ましい

-:指定要件に記載なし

1. 診療体制				
(1) 診療機能				
① 集学的治療の提供体制と標準的治療等の提供機能				
ア	5大がんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 * 「5大がん」とは、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。 * 「集学的治療等」とは、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療をいう。 * 「放射線療法」については、他の医療機関との連携によって対応できる体制を有することも可とする。 * 「標準的治療」とは、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
	放射線療法について、他の医療機関との連携によって対応する場合、放射線療法を連携する医療機関名について別紙3に記載すること。	A	別紙3	
イ	5大がん以外の各医療機関が専門とするがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について、別紙4に記載すること。	A	別紙4	
エ	5大がんについて、院内クリティカルパスを整備している。 * 「院内クリティカルパス」とは、検査及び治療等を含めた詳細な診療計画表をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
オ	5大がんについて、院内クリティカルパスを整備状況を別紙5に記載すること。	A	別紙5	
カ	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、がんセンターボードを設置している。 * がんセンターボードとは、手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。	C	いいえ	(はい・いいえ)
② がん化学療法の提供体制機能				
ア	外来において化学療法を提供する体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	急変時等の緊急時に外来において化学療法を提供する当該がん患者が入院できる体制を確保している。	C	はい	(はい・いいえ)
ウ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 * 「化学療法のレジメン」とは、治療内容をいう。	C	はい	(はい・いいえ)
エ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会は、必要に応じて、がんセンターボードと連携協力している。	C	いいえ	(はい・いいえ)
オ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会について、別紙6に記載すること。	C	別紙6	
診療従事者				
ア	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	3	人
イ	うち常勤	B	3	人
ウ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する専任医師数	C	3	人
エ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専任薬剤師数	1人以上A	2	人
オ	外来化学療法室(外来化学療法室を整備しない医療機関にあっては、外来において化学療法を提供する体制)における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師数	1人以上A	3	人
	外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性について、別紙7に記載すること。	-	別紙7	
③ 放射線療法の提供体制(放射線療法について他の医療機関との連携によってのみ対応する場合は、記入不要)				
診療従事者				
ア	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	0	人
イ	放射線治療に携わる専任診療放射線技師数	1人以上A	0	人
ウ	放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる常勤専任技術者等の人数	1人以上A	0	人
エ	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙8に記載すること	-	別紙8	

④ 緩和ケアの提供体制			
機能			
ア	緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。	A	はい (はい・いいえ)
イ	緩和ケアチームの組織上の位置づけについて別紙9に記入すること。	A	別紙9
ウ	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順を別紙10に記載すること。	A	別紙10
エ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	C	はい
オ	緩和ケア外来患者数(平成21年1月1日～12月31日)	C	0 人
カ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制について別紙11に記載すること。	C	別紙11
オ	緩和ケアチーム並びに必要なに応じて主治医及び看護師等が参加する症状緩和に係るカンファレンスが定期的に開催されている。	A	はい (はい・いいえ)
カ	緩和ケアチームに関する実績について別紙12に記入すること。	A	別紙12
カ	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績について別紙13に記入すること。	A	別紙13
キ	院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
ク	緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-	
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい (はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http://
	4.その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
		-	具体的に
ケ	緩和ケアチームに関する広報状況(院内掲示)について別紙14に記入すること。	A	別紙14
コ	かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
サ	国拠点病院が実施する緩和ケアに関する地域の医療機関との連携協力体制を整備に協力している。 *「国拠点病院」とは、厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院をいう。	A	はい (はい・いいえ)
シ	緩和ケア病床数(緩和ケア病棟入院料を算定の有無は問わない)	-	0 床
ス	緩和ケア病棟を有している。	-	いいえ (はい・いいえ)
セ	疼痛緩和の院内マニュアルがある。(院内で統一した疼痛の評価尺度がある)	-	はい (はい・いいえ)
診療従事者			
ア	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	2 人
イ	うち常勤	1人以上B	2 人
ウ	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専任医師数	1人以上C	0 人
エ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	C	0 人
オ	緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師数	1人以上A	9 人
カ	緩和ケアチームに協力する薬剤師数	1人以上C	1 人
キ	緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の数	1人以上C	0 人
ク	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性について、別紙15に記載すること。	-	別紙15
⑤ 病理診断(病理診断について、他の医療機関から協力を得られることによって対応する場合は、体制のみ記入。機能以降の項目は記入不要)			
体制			
ア	専従の病理診断に携わる医師を1人以上配置するか、又は他の医療機関から協力を得られる体制が確保されている。	A	はい (はい・いいえ)
	病理診断について、他の医療機関から協力が得られる体制の場合、病理診断の協力を得られる医療機関名について別紙16に記入すること。	A	別紙16
機能			
ア	診断のダブルチェックを行っている。	-	はい (はい・いいえ)
イ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	-	はい (はい・いいえ)
ウ	臨床グループからの病理診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	-	はい (はい・いいえ)
エ	同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。	-	はい (はい・いいえ)
診療従事者			
ア	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上A	1 人
イ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数	1人以上C	0 人
ウ	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙17に記載すること	-	別紙17

⑥ 病病連携・病診連携の協力体制			
ア	国拠点病院又は地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、地域の医療機関へがん患者の紹介を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
イ	病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
ウ	地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。	-	別紙18
ウ	地域の医療機関との連携協力体制の整備について、別紙19に記載すること。	-	別紙19
エ	国拠点病院が行う地域連携クリティカルパスの整備に協力する体制を整備している。 *「地域連携クリティカルパス」とは、国拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。	A	はい (はい・いいえ)
⑦ セカンドオピニオンの提示体制			
ア	5大がんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制を有すること。 *「セカンドオピニオン」とは、診断及び治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。	A	はい (はい・いいえ)
イ	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制について、別紙20に記載すること。	A	別紙20
ウ	セカンドオピニオンに対応している旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-	
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい (はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http://www.tane.or.jp/second-opinion/so-1.html
	4.その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
		-	具体的に
エ	セカンドオピニオンに関する詳細情報を別紙21に記載すること。	-	別紙21
⑧ その他			
スタッフのサポート体制			
ア	各診療科を包含する居室等を設置している。	C	いいえ (はい・いいえ)
イ	大阪府がん診療拠点病院の長は、当該病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
リンパ浮腫の診療			
ア	リンパ浮腫外来がある。	-	いいえ (はい・いいえ)
	担当科	-	
イ	リンパ浮腫の入院治療に対応している。	-	いいえ (はい・いいえ)
(2) 医療施設			
① 年間入院がん患者数			
ア	年間入院がん患者数(1年間に入院したがん患者の延べ人数をいう。)が概ね500人以上である。	A	はい (はい・いいえ)
② 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置			
ア	放射線療法を行う場合は、放射線治療に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	A	いいえ (はい・いいえ)
イ	外来化学療法室を設置している。	C	はい (はい・いいえ)
ウ	集中治療室を設置している。	C	はい (はい・いいえ)
エ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	C	はい (はい・いいえ)
オ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の状況について別紙22に記載すること。	-	別紙22
③ 敷地内禁煙等			
ア	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	A	はい (はい・いいえ)
イ	禁煙の状況	-	敷地内を全面禁煙 (敷地内を全面禁煙、施設内のみを全面禁煙、その他)
ウ	禁煙外来を実施している。	-	はい (はい・いいえ)
エ	「職場における喫煙対策のためのガイドライン」(平成15年)に準拠している	-	はい (はい・いいえ)

2 研修の実施体制				
(1)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修に積極的に協力するとともに参加する。 ※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)に準拠した研修である。	A	はい	(はい・いいえ)
	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修への協力及び参加状況について、別紙23に記載すること。	-	別紙23	
(2)	(1)のほか、国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修に積極的に協力するとともに参加する。	A	はい	(はい・いいえ)
	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修への協力及び参加状況について、別紙24に記載すること。	-	別紙24	
(3)	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスに積極的に参加する。	A	はい	(はい・いいえ)
	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況について、別紙25に記載すること。	-	別紙25	
3 情報の収集提供体制				
(1)相談支援機能				
①	院内に相談支援機能を有する窓口(以下「相談支援窓口」)を設置している。	A	はい	(はい・いいえ)
②	当該窓口配置しているがんに関する相談に対応できる職員数	1人以上A	1	人
③	当該窓口は、国拠点病院と連携して患者、家族及び地域の医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
④	相談支援窓口の相談対応状況を別紙26に記載すること。	-	別紙26	
⑤	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築について、別紙27に記載すること。	-	別紙27	
⑥	自施設を受診している、または、受診していた患者さんやご家族の相談件数 ※がんに関する相談に限る。平成22年6月-7月	-	8	件
	ア 対面相談		6	件
	イ 電話相談		0	件
	ウ fax相談		0	件
	エ e-mail相談		2	件
⑦	自施設を受診していない患者さんやご家族、一般の方等の相談件数 ※がんに関する相談に限る。平成22年6月-7月	-	0	件
	ア 対面相談		0	件
	イ 電話相談		0	件
	ウ fax相談		0	件
	エ e-mail相談		0	件
	相談件数合計		8	
⑧	各種対応窓口について別紙28に記載すること。	-	別紙28	
(2)院内がん登録				
①	院内がん登録を実施している。	A	はい	(はい・いいえ)
②	国が定める「標準登録様式」に基づく院内がん登録を実施している。	C	いいえ	(はい・いいえ)
	院内がん登録の登録項目数	-	57	項目
	院内がん登録の登録実施項目について、別紙29に記載すること。	-	別紙29	
③	院内がん登録を活用することにより、大阪府が行う地域がん登録事業にデータを提供する。	A	はい	(はい・いいえ)
(3)その他				
①	臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。		いいえ	(はい・いいえ)
ア	進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	
	4 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
			具体的に	
イ	参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	
	4 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
			具体的に	
ウ	院内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
	窓口で対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
	電話で対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
	FAXで対応している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	e-mailで対応している。	-	はい	(はい・いいえ)

② その他の情報提供等			
ア	患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	-	はい (はい・いいえ)
イ	府民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるいはマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	-	はい (はい・いいえ)
ウ	患者・府民向け講演会を定期的を開催している。	-	はい (はい・いいえ)
エ	患者・府民向け講演会の実施情報について、別紙27に記載すること。	-	別紙30
③ 府民へのメッセージ			
ア	HP公開用の府民へのメッセージを別紙31に記載すること。	-	別紙31

保有する放射線診療機器等の一覧

病院名 かつこう会 多根総合病院

平成22年9月1日現在

コンピュータ断層撮影装置(CT)

	メーカー	機種名	導入年月日	検出器の列数
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	8列
1	フィリップス	Brilliance64	2006.5.1	64列
2	GE	HispeedFXI	1998.12.1	1列
3				
4				
5				
6				
7				
8				

磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

	メーカー	機種名	導入年月日	磁場強度(テスラ数)
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	1.5T
1	GE	SIGNA	1995.12.1	1.5T
2				
3				
4				
5				
6				

核医学検査に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	PET装置	○社	ABC-12	2005. 10. 1	
1		シーメンス	E-CAM	2003.2.1	
2	ガンマカメラ	GE	STARCAM4000i	1993.5.1	
3					
4					
5					

血管造影連続撮影検査(または IVR専用)に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	DSA	○社	ABC-12	2005. 10. 1	
1	3D・DSA	東芝	DFP2000AS	2001.10.1	3Dアンギオ、パイプレン
2	心カテ	東芝	DFP2000A	1996.12.1	
3					
4					
5					

外部照射装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	X線出力エネルギー	幅1cm以下の多段コリメータの有無
(例)	リニアック	○社	ABC-12	2005. 10. 1	6MV、10MV	有
1						
2						
3						

小線源治療装置

	メーカー	機種名	導入年月日	使用線源
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	イリジウム-192
1				
2				
3				

放射線治療計画システム

X線シミュレータの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1		
1					
2					
3					

放射線治療計画専用CTの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2002.10.1		
1					
2					
3					

三次元放射線治療計画ワークステーションの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2006.10.1		
1					
2					
3					

バーチャルスライド装置

	メーカー	機種名	導入年月日
(例)	○社	ABC-12	2007.3.1
1			
2			
3			

高度医療への対応状況（がんに関するもの）

	高度医療技術名	第2項/ 第3項 (※)	承認年月日	実施件数 (平成22年 4月～8月)	担当診療科名
1	内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	第2項	H22.4.1	4	外科
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準」(平成20年厚生労働省告示第129号)第2項各号に掲げる先進医療、同告示第3項各号に掲げる先進医療の区別を記入。

集学的治療の提供にあたって放射線療法を 他の医療機関との連携によって対応できる体制

平成21年1月から12月について記載(延べ数ではなく実数を記載すること。)

病院名 社会医療法人きつこう会
多根総合病院

	放射線療法について連携する医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇—〇—〇	35人
1	(財)日本生命済生会附属 日生病院	大阪府大阪市西区立売堀6丁目3-8	4人
2	大阪市立大学 医学部 附属病院	大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5-7	3人
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において放射線療法を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

診療機能

期間 平成22年9月1日時点

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の当 該疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載内容				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績の掲 載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野の 掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を 掲載しているページの URL ※複数のページのURLの 記載可	
(例) 肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	2	はい	いいえ	はい	http://
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	腫瘍内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	あり						
		集学的治療		実施可		上記の科					
肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			定位放射線治療	未実施	なし						
		光線力学療法		未実施	なし						
集学的治療		実施可		外科							
胃がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	外科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	外科	5				
		放射線療法	体外照射	未実施	なし	外科					
光線力学療法		未実施	なし	外科							
集学的治療		実施可		外科							
大腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.tane.or.jp/sinryoubu/daityou.html
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	外科	5	はい	はい	はい	http://www.tane.or.jp/naishikyoku/esd.html
		化学療法		実施可	あり	外科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
集学的治療		実施可		外科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容			
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可
肝がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		穿刺療法	ラジオ波焼灼療法	実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
			マイクロ波凝固法	実施可	あり						
			エタノール局所注入療法	実施可	あり						
		肝動脈塞栓術(TAE)		実施可	あり	外科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
定位放射線治療	未実施		なし								
集学的治療		未実施		外科							
乳がん	診療可	手術	乳房切除	実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
			乳房温存	実施可	あり						
			乳房再建	実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		冷凍凝固摘出術		未実施	なし						
集学的治療		実施可		外科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況	昨年の実績	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
			※平成22年9月時点(実施可・未実施)	※平成21年1月1日～12月31日(あり・なし)			治療内容の掲載(はい・いいえ)	治療実績等の掲載(はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数ページのURLの記載可です	
脳腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	脳神経外科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	あり	脳神経外科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 神経膠腫(びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など)、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫など									
脊髄腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	脳神経外科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	あり	脳神経外科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 脊髄腫瘍など									
眼、眼高腫瘍	診療不可	手術	未実施								
		冷凍凝固術	未実施								
		光凝固術	未実施								
		化学療法	未実施								
		眼動注	未実施								
		放射線療法	体外照射	未実施							
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施							
小線源治療	未実施										
集学的治療	未実施										
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 眼瞼腫瘍、結膜腫瘍、網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、涙腺腫瘍など									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
頭頸部 がん	診療不可	手術	摘除術、再建術	未実施							
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		実施可							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上 顎がん、下顎がん、鼻腔がんなど									
甲状腺 がん	診療可	手術		実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施							
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施							
			小線源治療	未実施							
		放射線療法	放射性ヨード内服治療	未実施							
集学的治療		実施可									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 甲状腺がん									
食道が ん	診療可	手術	開胸手術	実施可		外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			胸腔鏡下手術	実施可							
		内視鏡的治療	粘膜切除術 (EMR)	実施可		外科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			粘膜下層剥離術 (ESD)	実施可							
		化学療法		実施可		外科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施							
			小線源治療	未実施							
		光線力学療法		未実施							
集学的治療		実施可									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 頭部食道がん、胸部食道がん、食道胃接合部がん(腹部食道がん)など									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
縦隔腫瘍	診療不可	手術	開胸手術	未実施							
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 胸腺腫など							
中皮腫	診療不可	手術		未実施							
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 中皮腫							
膵がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施				いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 膵がん							
胆道がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施				いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
十二指腸・小腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施				いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 乳頭部がん、十二指腸がん、小腸がんなど							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください											
腎がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			腹腔鏡下小切開手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		インターフェロン療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 腎がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください											
膀胱がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		膀胱内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 膀胱がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください											

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	過去の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
尿路がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		腎盂・尿管内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 腎盂がん、尿管がん、尿道がんなど									
副腎腫瘍	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		集学的治療		実施可							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 褐色細胞腫、副腎皮質がんなど							
前立腺がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			腹腔鏡下小切開手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
集学的治療		実施可									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 前立腺がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
精巣がん	診療可	手術		実施可	あり	泌尿器科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	あり	泌尿器科					
		集学的治療		実施可							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 精巣がん							
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください									
その他の男性 生殖器がん	診療可	手術		実施可	あり		2	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり		2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施							
		集学的治療		実施可							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 陰茎がん							
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください									
子宮がん	診療不可	手術	開腹手術	未実施							
			腹腔鏡下手術(腔式)	未実施							
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
			小線源治療	未実施							
		光線力学療法		未実施							
集学的治療		未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 子宮頸がん、子宮体がん									
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください									
卵巣がん	診療不可	手術	開腹手術	未実施							
			化学療法		未実施						
		放射線療法	体外照射	未実施							
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例: 卵巣がん							
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	貴院における各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
その他の女性生殖器がん	診療不可	手術	開腹手術	未実施							
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がんなど							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください											
皮膚腫瘍	診療不可	手術		未実施							
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
		インターフェロン療法		未実施							
		凍結療法		未実施							
		集学的治療		未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください											
悪性骨軟部腫瘍	診療不可	手術	切・離断術	未実施							
			患肢温存術	未実施							
			再建術	未実施							
			骨移植術	未実施							
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください											

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
血液腫瘍	診療不可	化学療法	未実施							
		移植	自家末梢血幹細胞移植	未実施						
			血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施						
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移	未実施						
		放射線療法	体外照射	未実施						
			全身照射	未実施						
集学的治療	未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください										
小児脳腫瘍	診療不可	手術								
		化学療法								
		放射線療法	体外照射							
			定位放射線治療							
			強度変調放射線治療(IMRT)							
			小線源治療							
集学的治療										
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫など								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください										
小児網膜芽細胞腫	診療不可	手術								
		化学療法								
		眼動注								
		放射線療法	体外照射							
			小線源治療							
		冷凍凝固術								
		光凝固術								
集学的治療										
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:小児網膜芽細胞腫								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください										
小児固形										

形腫瘍	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
小児悪性骨軟部腫瘍	診療不可	手術								
		化学療法								
		放射線療法	体外照射							
			小線源治療							
		集学的治療								
	昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例: 横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫など								
その他の小児固形腫瘍	診療不可	手術								
		化学療法								
		放射線療法	体外照射							
			小線源治療							
		集学的治療								
	昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例: 神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫など								
小児血液腫瘍	診療不可	化学療法								
		移植	自家末梢血幹細胞移植							
			血縁者間同種造血幹細胞移植							
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植							
		放射線療法	体外照射							
	小線源治療									
集学的治療										
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例: 急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など									
原発不明がん	診療不可	手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例: 原発不明がん							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
性腺外胚細胞腫	診療不可	手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例: 性腺外胚細胞腫							
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor: 消化管間質腫瘍)	診療不可	手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例: GIST							
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								

院内クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名	社会医療法人きつこう会 多根総合病院	
パス整備数	13	
パス適応数	27	

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適応患者数	最終更新日
(例)	肺がん	手術療法	開胸肺葉切除術パス	8	2009/10/1
(例)	肺がん	化学療法	カルボプラチン・パクリタキセル併用療法パス	1	2008/5/1
(例)	大腸がん	手術療法	結腸切除術パス	6	2010/1/20
1	肺がん	手術療法	VATSパス	0	2008/3/31
2	肺がん	手術療法	肺癌肺葉切除術	0	2010/2/28
3	胃がん	手術療法	胃全摘術パス	0	2008/3/31
4	胃がん	手術療法	幽門側胃切除術パス	1	2008/3/31
5	胃がん	その他	内視鏡的粘膜切除術(EMR)及び粘膜下層剥離術(ESD)	3	2008/3/31
6	大腸がん	手術療法	結腸切除術パス	6	2008/3/31
7	大腸がん	手術療法	低位前方切除術パス	4	2008/3/31
8	大腸がん	その他	内視鏡的粘膜切除術(EMR)及び粘膜下層剥離術(ESD)	1	2008/3/31
9	肝がん	手術療法	経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)パス	2	2008/3/31
10	肝がん	手術療法	経皮的マイクロ波凝固法(PMCT)パス	2	2008/3/31
11	肝がん	手術療法	肝動脈塞栓術(TAE)パス	6	2008/3/31
12	乳がん	手術療法	乳房温存療法パス	2	2008/3/31
13	乳がん	手術療法	乳房切除術パス	0	2008/3/31

化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会

期間 平成22年 4月 1日 ~ 8月31日

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

名称	構成メンバー(◎:委員長)	備考
(例)レジメン管理委員会	◎副院長、薬物療法部長、薬剤部長、通院治療センター長、副看護部長、腫瘍内科医長	
がん化学療法委員会	◎外科統括部長、 泌尿器科医長、 産婦人科部長、 薬剤部長、 薬局長、 薬局主任、 外来看護師長、 外来看護師、 病棟看護師 管理部次長	

開催実績(開催日)	委員会名称	承認レジメン数
例:4月10日	レジメン管理委員会	5

外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する
医師、薬剤師、看護師の専門性

期間 平成22年9月1日時点

病院名

職種	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任 /兼任	化学療法 の経験 年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例) 医師	腫瘍内科	常勤	専従	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1 医師	外科	常勤	専任	8	日本がん治療認定医(2009年)
2 医師	泌尿器科	常勤	専任	3	日本がん治療認定医(2008年)
3 医師	婦人科	常勤	専任	3	日本産婦人科学会専門医
4 看護師		常勤	専任	3	
5 看護師		常勤	専任	3	
6 看護師		常勤	専任	1	
7 薬剤師		常勤	専任	3	
8 薬剤師		常勤	専任	3	
9					
10					
11					
12					
13					
14					

○ 研修医は除くこと。

○ 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

○ 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	放射線治療科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	医師					
2	医師					
3	医師					
4	医師			該当なし		
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

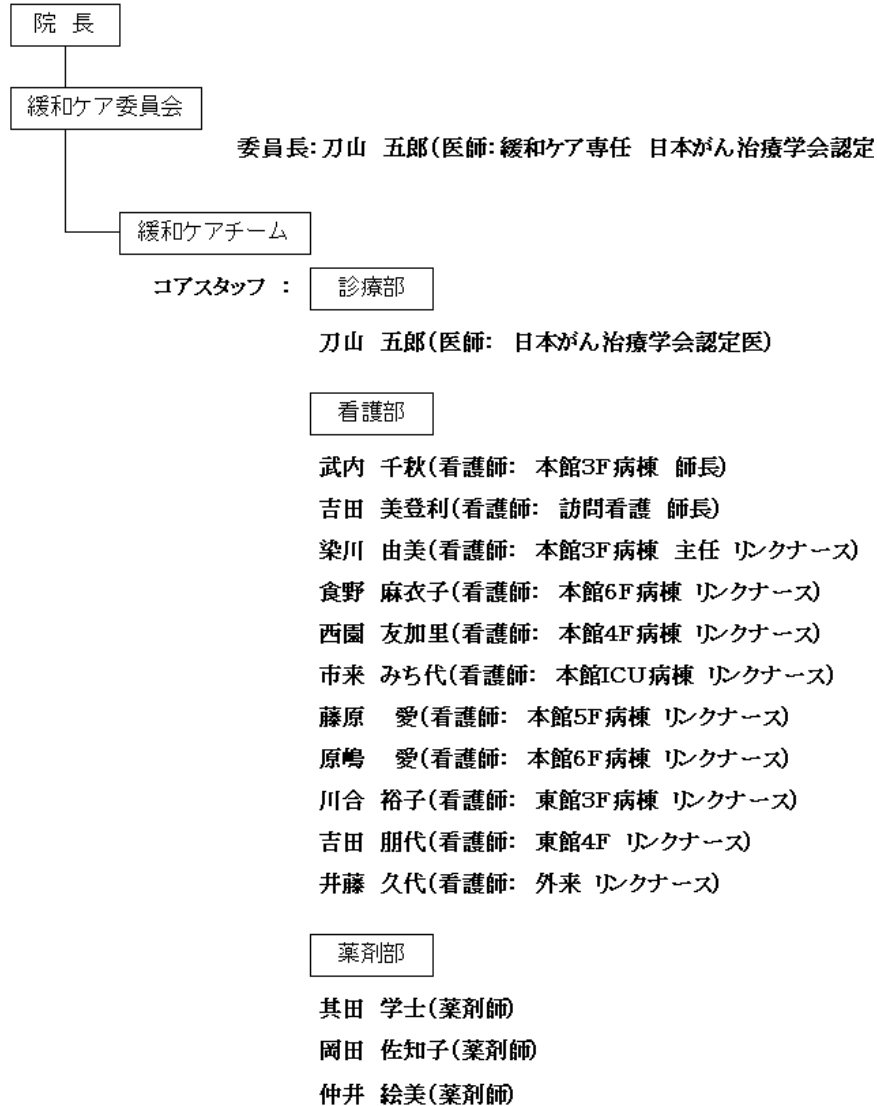
専任:当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従:当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

緩和ケアチームの組織・体制

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

病院内の緩和ケアチームの位置づけが分かる組織図



緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

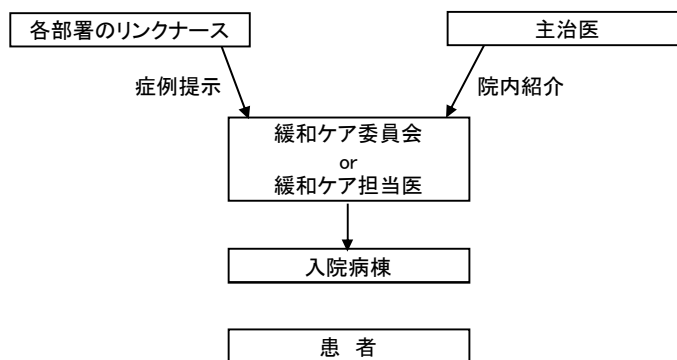
期間 平成22年9月1日時点

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

緩和ケアチームへの入院患者の紹介の手順について必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

月1階の緩和ケア委員会を通して、各部署のリンクナースから治療・ケアに難渋している症例を提示し、患者管理・疼痛コントロール家族への対応を協議し問題点・解決方法を持ち帰って主治医・病棟へフィードバックしている

場合によっては主治医からの院内紹介という形で緩和ケア委員会委員長の医師かが直接主治医から依頼を受け、必要な情報は電子カルテを通して確認し、問題点の解決・今後の方針について協議している



外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

緩和ケア外来の診療日時等がわかる外来担当表を添付してください。

消化器センター・外科外来診察担当表

	午前 9:00~11:30	午後 1:00~3:00
月	山 田 渡 瀬 小 川(稔)	刀 山※ 廣 岡
火	門 脇 柳 丹羽(紹介・再診)	【手術日】
水	小 川(淳) 森 丹羽(紹介・再診)	渡 瀬 柳
木	刀 山※ 小 川(淳) 廣 岡	【手術日】
金	山 田 門 脇 小 川(稔)	森 浅 井 田 中(再)
土	医師交替	
備考	※月曜日の午後、木曜日の午前には緩和ケア外来もおこなっております。	

緩和ケアチームに対する新規診療症例

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

総数 1

注1) 診療回数は、緩和ケアチームによる診療が診療録に記載されたもののみとすること。

注2) 緩和ケア病棟に入院している期間の診療は除くこと。

注3) 記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	外来/ 入院	主病名	主診療科	診療 依頼日	依頼者の 所属 自施設/ 他施設 /その他	診療依頼者	診療依頼内容	診療 開始日	診療 終了日	診療 回数	診療内容
(例)	外来	肺がん	呼吸器内科	6月1日	他施設	医師	疼痛、倦怠感、抑うつ、家族のサポート	6月5日	継続中	8	疼痛コントロール、カウンセリング
1	外来	大腸がん	消化器外科	6月15日	自施設	医師	疼痛、倦怠感	6月18日	7月28日	10	疼痛コントロール
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											

緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績

(別紙13)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名

社会医療法人きつこう会 多根総合病院

2ヶ月分の総数

1

※記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

開催日	時間 (分)	検討 症例数	参加 人数	主診療科名	主診療科以外の 参加者の診療科名	参加者の職名・職種
(例) 7月3日	60	3	20	乳腺外科	腫瘍内科	乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー
1: 7月7日	60	1	14	消化器外科		外科医、看護師、薬剤師
2:						
3:						
4:						
5:						
6:						
7:						
8:						
9:						

緩和ケアに関する広報

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

緩和ケアチームによる診療が受けられることについての院内掲示等(写真および掲示場所の院内図等を添付することにより具体的な掲示状況を示すこと)



緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する
身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、
看護師(*)の専門性

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

チームでの役割	診療科(医師のみ記載)	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	緩和ケアの経験年数	専門医等資格
(例) 身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1 身体症状の緩和に携わる医師	外科・消化器科	常勤	専任	8年	日本外科学会専門医 日本がん治療学会認定医
2 看護師		常勤	専従	5年	緩和ケア—認定看護師研修中
3 看護師		常勤	専従	5年	
4 看護師		常勤	専従	4年	
5 看護師		常勤	専従	3年	
6 看護師		常勤	専従	3年	
7 看護師		常勤	専従	3年	
8 看護師		常勤	専従	2年	
9 看護師		常勤	専従	2年	
10 看護師		常勤	専従	2年	
11 身体症状の緩和に携わる医師		常勤	専任	2年	日本外科学会専門医
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

* 緩和ケアチームの看護師については、緩和ケアに従事する十分な時間が確保された者が、日常的に院内の全病棟を横断的に活動することにより、病院全体で専門的な緩和ケアを提供する役割を担うものである。病棟ごとに配置する緩和ケア担当看護師(いわゆる「リンクナース」)を、記載しないようにすること。

病理診断について他の医療機関から協力によって対応できる体制

平成22年1月から12月について記載

病院名 医療法人きつこう会 多根総合病院

	病理診断について協力をうける医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇—〇—〇	35人
1	自院にて対応		3人
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において病理診断を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名

社会医療法人きつこう会 多根総合病院

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	病理診断科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	医師	病理診断科	常勤	専従	34年	日本病理学会専門医(1982年)
2	医師					
3	医師					
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任:当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従:当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制

病院名 多根総合病院

平成22年6～7月に連携実績があった医療機関数、紹介件数、逆紹介件数（がんに関するもののみ）

	連携した医療機関数	他医療機関からの受け入れ件数	他医療機関への紹介件数
(例)	25	80	90
	119	183	112

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
(例)	〇〇診療所	2	4
1	いはら内科	8	2
2	ウエナエ産婦人科内科医院	3	2
3	エバーグリーン	1	0
4	おくい診療所	1	0
5	おとしより健康センター	0	1
6	かねだクリニック(浪速区)	0	1
7	クボタ恩加島事業センター 健康管理室	1	0
8	くろかわ診療所	1	0
9	ザイオン診療所	2	3
10	さいとう整形外科	1	0
11	さかいクリニック	1	2
12	たかせクリニック	5	2
13	ツルミ診療所	2	1
14	なにわ病院(浪速区)	1	0
15	にいつクリニック	1	0
16	にしのクリニック(住之江区)	0	1
17	ばばやクリニック	0	1
18	はやしだ診療所	2	0
19	フジイ内科クリニック	1	1
20	ほくとクリニック病院	1	0
21	ほりかわ泌尿器科クリニック	1	0
22	みなと生協診療所	1	3
23	やぎクリニック	2	0
24	やすだ医院	1	0
25	ヤマダクリニック(西区)	1	1
26	よしむら整形外科	1	0
27	芦屋病院	0	1
28	芦屋病院	0	1
29	安井整形外科クリニック	2	1
30	医)喜多クリニック 弁天町クリニック	2	0
31	医療法人 蒼生会 楠本病院	0	1
32	越智医院	1	0
33	塩見医院	4	3
34	河村医院	1	1
35	河野外科	2	0
36	櫻原クリニック	2	1
37	義元診療所	0	1
38	宮岡クリニック	2	2
39	宮崎クリニック	1	0
40	宮沢医院	1	0
41	金山内科クリニック	1	0
42	金田クリニック(港区)	0	1
43	串田病院	1	0
44	古林内科	1	0
45	香山医院	3	4
46	今里休日急病診療所	0	1
47	佐々医院	6	3
48	坂元内科クリニック	11	3
49	阪急電鉄株式会社大阪診療所	1	1
50	笹尾医院(港区)	2	1

51	山梨病院	0	1
52	市立堺病院	0	1
53	思温クリニック(東住吉区)	0	1
54	手島病院	1	0
55	住友病院	1	0
56	小川病院	2	2
57	小嶋整形外科	0	1
58	小牧市民病院	1	0
59	松井クリニック	0	1
60	松浦診療所	3	1
61	松本クリニック(港区)	0	1
62	松本内科クリニック(中央区)	1	0
63	常松診療所	3	2
64	生野内科クリニック	21	7
65	西村外科	2	0
66	石村クリニック	3	0
67	千本診療所	1	0
68	千本病院	1	1
69	川端内科クリニック	1	0
70	浅井内科医院	3	0
71	前田診療所	1	0
72	荘田診療所	1	1
73	足立医院	0	1
74	村川医院	1	0
75	大阪暁明館病院	0	2
76	大阪警察病院	1	1
77	大阪市立大学医学部附属病院	3	2
78	大阪赤十字病院	1	0
79	大阪船員保険病院	2	1
80	大阪大学医学部附属病院	2	0
81	大阪掖済会病院	1	0
82	大正病院	1	1
83	大村医院	3	3
84	大谷クリニック	1	1
85	大津病院	1	0
86	大野クリニック	0	1
87	中央急病診療所	0	2
88	中山医院(港区)	1	4
89	中山診療所	1	2
90	中山製鋼所附属病院	0	1
91	中島クリニック(住之江区)	1	0
92	津守病院	1	0
93	辻本病院	4	0
94	田澤医院	0	1
95	島村診療所	1	0
96	島崎診療所	0	1
97	東大阪市立総合病院	0	1
98	藤吉医院(大正区)	0	1
99	藤田外科胃腸科	1	0
100	内藤医院	3	0
101	南大阪病院	1	0
102	南津守医院	0	1
103	日生病院	5	0
104	日本橋病院	0	1
105	日立造船江戸堀	1	1
106	柏井クリニック	1	1
107	板東医院	1	1
108	飯島クリニック	0	1
109	片桐民主診療所	0	1
110	北村医院	1	0
111	北代診療所	1	2
112	北野病院	3	0
113	末吉内科	0	1
114	野洲クリニック	1	0

115	野村クリニック	0	1
116	鈴木医院(旧鈴木外科内科・港区)	0	1
117	鈴木医院(大正区)	1	0
118	浪速生野病院	0	1
119	頼医院	6	2

地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況

平成22年4月～8月の間に実施したもの

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数	内容
(例1)	11月20日	2時間	XXX地域連携連絡協議会	二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	50人	地域の医療機関での外来化学療法中の急変時等の緊急時の相談窓口や受入について
(例2)	12月7日	2時間	〇〇〇地域肺がん診療連携連絡部会	肺がん診療を行っている二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	20人	肺がんに関する地域連携クリティカルパスについて
2	8月9日	2時間	港区医師会在宅医療研修会	二次医療圏内	ホテル大阪ベイトワ	60人	地域の医療機関との緩和ケア治療連携につ
3	8月28日	3時間	緩和ケアチーム合同研修会	緩和診療を行	ホテルモントレグラス	40人	緩和チームの問題点と改善報告について
4	7月3日	1.5時間	多根総合病院開放型病院登録医総会	二次医療圏内	ホテル大阪ベイトワ	110人	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、
手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師による
セカンドオピニオンを提示する体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名

社会医療法人きつこう会 多根総合病院

■ ホームページ「セカンドオピニオン」のページの掲載内容		
1	セカンドオピニオンに対応している疾患名を掲載している	はい
2	セカンドオピニオンの対応件数を掲載している	いいえ
3	セカンドオピニオンを担当している医師名と所属診療科名を掲載している	いいえ
4	セカンドオピニオンを担当している医師の専門分野を掲載している	はい
5	上記の内容を掲載しているページのURL	http://www.tane.or.jp/second-opinion/so-1.html

5大がん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あげてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
(例)肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科	2 1	肺がん 胸腔鏡手術
肺がん	対応可	なし	外科	1	肺がん
胃がん	対応可	なし	外科	1	胃がん
大腸がん	対応可	なし	外科	1	大腸がん

肝がん	対応可	なし	外科	1	肝がん
乳がん	対応可	なし	外科	1	乳がん

5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況 (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
脳腫瘍	対応可	なし	脳神経外科	1	
脊髄腫瘍	対応可	なし	脳神経外科	1	
眼、眼窩腫瘍	対応不可	なし			
頭頸部がん	対応不可	なし	外科		
甲状腺がん	対応可	なし	外科	1	甲状腺がん
食道がん	対応可	なし	外科	1	食道がん
縦隔腫瘍	対応可	なし	外科	1	肺がん
中皮腫	対応可	なし	外科	1	肺がん

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
膵がん	対応可	なし	外科	1	膵がん
胆道がん	対応可	なし	外科	1	胆道がん
十二指腸・小腸がん	対応可	なし	外科	1	十二指腸・食道がん
腎がん	対応可	なし	泌尿器科	1	腎がん
膀胱がん	対応可	なし	泌尿器科	1	膀胱がん
尿路がん	対応可	なし	泌尿器科	1	腎盂がん手術
副腎腫瘍	対応可	あり	泌尿器科	1	副腎皮質がん 化学療法
前立腺がん	対応可	あり	泌尿器科	2	前立腺生検
精巣がん	対応可	なし	泌尿器科	1	精巣がん
その他の男性生殖器がん	対応可	なし	泌尿器科	1	

5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況 (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
子宮がん	対応可	なし	婦人科	1	
卵巣がん	対応可	なし	婦人科	1	
その他の女性生殖器がん	対応可	なし	婦人科	1	
皮膚腫瘍	対応不可	なし			
悪性骨軟部腫瘍	対応不可	なし			
血液腫瘍	対応不可	なし			
小児固形腫瘍	対応不可	なし			
小児血液腫瘍	対応不可	なし			
原発不明がん	対応可	なし	外科	1	
性腺外胚細胞腫瘍	対応不可	なし			
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間 質腫瘍)	対応可	なし			

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
疾患名:					
疾患名:					
疾患名:					

各治療	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
化学療法	対応不可	なし			
放射線療法	対応不可	なし			
緩和ケア	対応不可	なし			

セカンドオピニオンに関する情報提供

期間 平成22年9月1日現在

病院名

社会医療法人きつこう会 多根総合病院

実施方法	セカンドオピニオン外来で対応	(一般外来で対応、セカンドオピニオン外来で対応、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンの問い合わせ先と申し込み方法		
窓口名	外科外来	
電話番号	06-6581-1071	
FAX番号	06-6585-2777	
e-mail	なし	
対応時間	水曜 13:00~15:00	
必要な紹介状・資料が揃わない場合の対応	初診として診療科外来へ紹介	(受付不可、初診として診療科外来へ紹介、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンを患者本人以外への対応	可	(可、本人の同意があれば可、不可)
通常料金	30 分まで 5,250 円	
超過料金	30 分につき 5,250 円	
その他の料金 (詳細と金額)	なし	
相談時間の制限	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		分

がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況

期間 平成22年4月1日～8月31日

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

件数 1

名称	活動日時	活動場所	参加者の対象疾患名	活動内容	相談支援窓口職員の関与の有無
(例) 乳がん勉強会	年1回 10月第2月曜	相談支援センター	乳がん患者・乳がん経験者	乳がん専門医による講演・意見交換	あり
(例) 患者サロン	毎週木曜日 9-17時	病院1階受付横の部屋	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	なし
1 患者サロン	月～金曜日 9-17時	病院1階受付横の部屋	がん患者・家族	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	あり
2					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況

平成21年11月～22年8月の間に実施されたもの

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	開催場所	種類	参加/ 協力人数(人)	内容
(例)	参加済	4月5日	2日間	〇〇病院実施 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	〇〇病院	講義+ワークショップ	3	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
(例)	協力済	8月3日	2日間	大阪〇〇緩和ケア研修会	〇〇病院	講義+ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの 〇〇の講義に自院の医師が講師として協力
1	参加済	11月9日	2時間	大阪緩和ケア研究会	マイドームおおさ	症例検討会	1	仙骨転移による坐位困難で苦慮した卵巣癌の一例
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)で示している緩和ケア標準プログラムのことである。

**国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした
がんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況**
平成22年4月～22年8月の間に実施されたもの

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

参加済 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	対象	開催場所	種類	参加/協力 人数(人)	内容
(例) 協力済	4月12日	2時間	××病院 胃X線読影 研修会	二次医療圏内医 師	XX病院 会議室	講義	1	放射線科医師を、早期胃がんX線画像読影の ポイントに関する研修へ講師として派遣
(例) 参加済	8月11日	1時間	〇〇セミナー	二次医療圏内医 師・看護師	〇〇病 院	講義	4	〇〇についてのセミナーを受講
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

**国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の
医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況**

平成22年4月～23年1月の間に実施されたもの

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数 (人)	内容
(例)	4月20日	2時間	〇〇病院実施 ××地域肺がん合同カンファレンス	二次医療圏内医療従事者	△△病院会議室	2	病院と在宅療養支援診療所の連携により円滑な在宅医療への移行が可能であった症例を通じて学ぶ「退院前カンファレンス」の開催のポイント
1	11月9日	2時間	大阪緩和ケア研究会	二次医療圏内医療従事者	マイドームおおさか	1	仙骨転移による坐位困難で苦慮した卵巣癌の一例
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※参加人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

相談支援窓口の相談対応状況

期間 平成22年9月1日現在

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

相談支援窓口の名称	患者様相談窓口	
相談支援窓口の電話番号		
問い合わせ先電話番号	代表06-6581-1071(内線4480)	
電話相談の電話番号		上記問い合わせ先と異なる場合のみにご記入ください
※相談支援窓口が独立していない場合、患者さんが最初に問い合わせる窓口		例: 医療連携室
相談支援窓口の対応曜日と対応時間		
対応曜日と対応時間	月～金曜日 9～16時	
対面相談の対応曜日と対応時間		上記の対応時間内で対面相談の時間設定がある場合のみ記入してください
電話相談の対応曜日と対応時間		上記の対応時間内で電話相談の時間設定がある場合のみ記入してください
対面相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	不要	(必要、不要)
時間制限の有無	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		
電話相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	不要	(必要、不要)
時間制限の有無	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		
FAX相談の実施	未実施	(実施、未実施)
FAX相談のためのFAX番号		
e-mail相談の実施	未実施	(実施、未実施)
email相談のためのe-mail		
相談員の職種	看護師	
ピアサポート提供の有無		(あり、なし)
ありの場合は具体的な活動内容を記載してください		※ピアサポートとは、がんを経験された方やご家族による支援活動を指しています
相談者が利用できる資料	図書、雑誌、DVD、パンフレット、新聞等の切り抜き	例: 図書、雑誌、ビデオ・DVD、パンフレット、インターネット
うち参考図書の冊数(冊)		※雑誌と冊子を含まず
自施設を受診していない患者さんやご家族の利用		(可、不可)
地域の患者会の情報提供の有無		(あり、なし)
提供可能な地域の患者会の数		

相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との 連携協力体制構築の取り組みの状況

病院名

	がん患者団体名	活動内容	相談支援窓口 職員の関与の 有無
	(例)XX病院血液がん患者の会	3ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。	あり
1			
2		該当なし	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口

期間 平成22年9月1日現在

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

1.セカンドオピニンの問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)自施設のセカンドオピニンについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	窓口名	予約センター または 各科外来受付
	電話	6585-2729 6581-1071
	FAX	6581-2520
	電子メール	
	受付時間	9時～17時
	ホームページのURL	http://www.tane.or.jp/
2)自施設のセカンドオピニンについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの 問い合わせ窓口	窓口名	地域情報r連絡室
	電話	6585-2780
	FAX	6585-2330
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

2.緩和ケアの問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)緩和ケア外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		はい
2)自施設の緩和ケアについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	窓口名	予約センター または 副院長刀山
	電話	6585-2729 6581-1071
	FAX	6581-2520
	電子メール	
	受付時間	9時～17時
	ホームページのURL	http://www.tane.or.jp/
3)自施設の緩和ケアについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの 問い合わせ窓口	窓口名	薬剤部 三木顧問
	電話	6585-2780
	FAX	6585-2330
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

3.緩和ケア病棟の問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)緩和ケア病棟で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2)自施設の緩和ケア病棟について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3)自施設の緩和ケア病棟について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

4.臨床試験・治験の問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	薬剤部 または 三木顧問
	電話	6581-1071
	FAX	6585-2071
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
2)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口が一本化している		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

■ がんの診療に関する専門外来の問い合わせ窓口について

1. ストーマ外来についての問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) ストーマ外来がある		いいえ
2) ストーマ外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のストーマ外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
4) 自施設のストーマ外来について、医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

2. リンパ浮腫外来の問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) リンパ浮腫外来がある		いいえ
2) リンパ浮腫外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

3.その他の外来でのケアについての問い合わせ窓口

1)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
2)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

3) ※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください
※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください

(1)自施設の		の問い合わせ窓口	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

4) ※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください
※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください

(1)自施設の		の問い合わせ窓口	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

院内がん登録の登録実施項目

がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版修正版

2006年度版修正版項目

- ◆ : 必須項目
- : 標準項目

自施設で全がんに対して登録している項目に「○」、全がんでなく一部のがん種に限っての登録項目に「△」、非登録項目に「×」を右の「登録している項目」欄に全項目について記入すること。

大項目	項目番号	項目名	必須／標準の別	登録している項目	
基本情報	10	患者ID番号	◆ ●	○	
	20	重複番号	●	×	
	40	氏名	◆ ●	○	
	50	性別	◆ ●	○	
	60	生年月日	◆ ●	○	
	診断情報	90	診断時都道府県コード	●	○
100		診断時住所(詳細)	●	○	
101		診断時住所(市区町村)	◆	×	
110		当該腫瘍初診日	●	○	
130		診断日1(他施設診断日)	●	○	
140		診断日2(自施設診断日)	●	○	
141		診断日	◆	○	
150		来院経路	●	○	
152		発見経緯	●	○	
153		来院・発見の経緯	◆	○	
160		診断区分(診断結果)	●	○	
161		診断施設	●	○	
170		治療方針	●	○	
180		症例区分	●	○	
182	診断及び初回治療・経過観察が行われた施設の別	◆	○		
腫瘍情報	200	診断名コード	◆ ●	○	
	210		◆ ●	○	
	220	部位の側性	●	○	
	230	ステージ(治療前・UICC)	●(5部位)	○	
	231	治療前のステージ(主要5部位)	◆(5部位)	○	
	232	ステージ(治療前・取扱い規約)	●(肝がん)	○	
	240	TNM分類(UICC)T分類		○	
	250	TNM分類(UICC)N分類	●(5部位)	○	
	260	TNM分類(UICC)M分類		○	
	270	ステージ(術後病理学的・UICC)	●(5部位)	○	
	280	pTNM分類(UICC)pT分類		○	
	290	pTNM分類(UICC)pN分類	●(5部位)	○	
	300	pTNM分類(UICC)pM分類		○	
	腫瘍情報	310	進展度(治療前)	●	○
320		進展度(術後病理学的)	●	○	
330		組織診断名コード	◆ ●	○	
340		組織診断名テキスト	◆ ●	○	
350		診断根拠	●	○	
351		病理組織標本由来	●	○	
352		診断に寄与した検査	◆	○	
460		外科的	外科的治療の有無	◆ ●	○
480		・内視鏡的	体腔鏡的治療の有無	◆ ●	○
500		・体腔鏡的	内視鏡的治療の有無	◆ ●	○
520		治療	外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	●	○
530		入院日(初回治療)	●	○	
550		放射線治療	◆ ●	○	
560		化学療法	◆ ●	○	
570		免疫療法・BRM	●	○	
580		内分泌療法	●	○	
590		TAE	●	○	
600		PEIT	●	○	
610		温熱療法	●	○	
620		レーザー等治療(焼灼)	●	○	
629	その他の治療	●	○		
予後情報	640	生存最終確認日	◆ ●	○	
	650	死亡日	◆ ●	○	
	660	予後調査結果	●	○	
	720	予後調査方法	●	○	
その他	860	登録日	●	○	
	861	最終更新日	◆	○	
	870	定義バージョン	●	×	

※ 項目の定義については、
「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版 修正版」を参照すること
http://ganjoho.ncc.go.jp/hospital/cancer_registration/registration01.html

患者・府民を対象としたがんに関する講演会の実施状況

平成22年4月～8月の間に実施したもの

病院名 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

	開催日	時間	名称	開催場所	種類	参加人数	講師	内容
(例)	4月26日	3時間	** 病院がん市民講演会	〇〇市民ホール	セミナー	200人	院内1人 院外2人	科学的根拠に基づくがん検診について
1			なし					
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

府民へのメッセージ

社会医療法人きつこう会 多根総合病院

府民へのメッセージ(各項目200字以内)

大阪府がん診療拠点病院として

当院では、すべてのがん患者さんに最も適した治療を受けていただけるように化学療法や緩和医療を提供しております。更に2011年にオープンする新病院では放射線治療の最新鋭機「ノバリスタ」を大阪市内で初めて導入し、IMRTを中心とする最新治療を提供すると共に12階の最上階には緩和ケア病棟も設置する予定です。

がん診療に関する当院の特長

診断から治療まで消化器科・外科が一貫したケアを行い、特に鏡視下手術を積極的に取り入れています。根治治療だけでなく、再発時・終末期にわたる全てのケアをトータルで対応できる施設として府民の皆様のために努力しています。

相談支援窓口について

専任の看護師が皆様の相談に乗り、共に問題の解決を行っています。また相談内容によっては医師や専門看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなど専門のスタッフをご紹介します。

緩和ケアの提供体制について

緩和ケアチームでは、長年緩和医療に携わっている医師、看護師、薬剤師等がメンバーとなり、がん患者さんの苦痛緩和とQOL向上を目指しています。定期的なカンファレンスを行ない、担当医と連携しながら、すべてのがん患者さんに最善の緩和医療を提供できるように努力しています。